



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年2月26日

第13号



『いつもありがとうございます』という子どもの言葉が
励みになっています」

校長 神田 敏之

キッズパトロール隊（登下校の見守り活動をしてくださっている地域の方々）の方から日ごろの様子などをお聞きする機会がありました。

その中でうれしかったことは、挨拶が上手になってきたことを褒められたことです。自分から進んで挨拶をしたり、ありがとうの言葉を付け足したりしていることです。学校でも挨拶運動に取り組んでいますが、家庭でも進んで挨拶をできるようにご指導いただいたり、家庭内でも挨拶をし合ったりしていることの表れだと思いました。

また、今後指導を重ねていきたい課題についても教えていただきました。学校帰りは楽しく、気が緩む場面が見られるそうです。遊びながら帰ったり走ったりする姿もあるそうです。横断歩道のそばで立ち止まっておしゃべりをしていると、車の方が渡るのか渡らないのか迷ってしまうという様子もあるそうです。雨の日に傘をさして、信号待ちで混雑してしまうことや、歩道の端に立つと傘が車道側に出てしまい、車と接触する可能性があることなども教えていただきました。これらのことは、教室でも指導していきます。

ある日の新聞の投書欄に通学路の見守りについての内容がありました。この方は、通学路の見守りボランティアの「行ってらっしゃい」の言葉に励まされたそうです。しかし長期休みに通る通学路はいつもと同じ道なのに、少し寂しく感じたことから、ボランティアの方には目に見える危険だけではなく、不安や緊張といった見えないものからも守ってくれていたのだと思ったそうです。

保護者の方にも旗当番として年に何回か見守りをしていただいています。安全の見守りという側面だけではなく、子どもたちが安心して登校できるように励ましをお願いします。そのためにも家を出るときには、穏やかな気持ちで登校できるように朝の時間の過ごし方をお考えいただけるとありがたいです。

登下校について家庭でお子さんに指導をいただいています。そうはいつてもなかなか大人の思うとおりに行動ができません。他のことに気を取られたり話に夢中になっていたりするとなおさらです。本校では、集団登校の機会も設け、子ども同士や上の学年の子どもが下の学年の子どもたちのことも気にして登校できるように考えています。手をつないで来たり、傘がない子どもと一緒に入ってきたりとほほえましい姿も見られます。上の学年の子どもには、手本になるような行動を自分の考えでできるようにしていきたいです。

今年度は、通常の教育活動もなかなか難しかったこともあり、例年行っている感謝の会を開くことができませんでした。そこで、ボランティアの方に向けて感謝の気持ちを手紙で伝えることにしました。ボランティアの皆様にはいろいろな場面で学校や子どもたちを支えていただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。